

相模川 河川水辺の国勢調査
【両生類・爬虫類・哺乳類調査 位置図】
 調査年度：平成16年度(2004年度)



● : 調査地点 (この番号が、次の確認種リストの調査地点番号と対応しています。)

— : 相模川流域 (降った雨や雪の水が、相模川に集まってくる範囲です。)

— : 相模川水系の河川。太く示した河川は、京浜河川事務所が管理しており、調査は管理区域内で実施しています。

【道路】 — : 国道、 — : 有料道路 【鉄道】 — : JR線、 — : その他の鉄道

相模川 河川水辺の国勢調査【両生類・爬虫類・哺乳類調査 確認種リスト】 調査年度:平成16年度(2004年度)

両生類

No	目名	科名	種名	学名	重要種		特定外来生物等		相模川				
					環境省RL	神奈川県RDB	特定	要注意	調査地点番号				
1	無尾目	アマガエル科	ニホンアマガエル	<i>Hyla japonica</i>									
2	無尾目	アカガエル科	ウシガエル	<i>Rana catesbeiana</i>									
3	無尾目	アカガエル科	ツチガエル	<i>Rana rugosa</i>		要注							
合計種類数：1目2科3種													

爬虫類

No	目名	科名	種名	学名	重要種		特定外来生物等		相模川				
					環境省RL	神奈川県RDB	特定	要注意	調査地点番号				
1	カメ目	イシガメ科	クサガメ	<i>Chinemys reevesii</i>									
2	カメ目	ヌマガメ科	ミシシippアカミミガメ	<i>Trachemys scripta elegans</i>									
3	有鱗目	ヤモリ科	ニホンヤモリ	<i>Gekko japonicus</i>									
4	有鱗目	カナヘビ科	ニホンカナヘビ	<i>Takydromus tachydromoides</i>									
5	有鱗目	ナミヘビ科	アオダイショウ	<i>Elaphe climacophora</i>		要注							
合計種類数：2目5科5種													

哺乳類

No	目名	科名	種名	学名	重要種		特定外来生物等		相模川				
					環境省RL	神奈川県RDB	特定	要注意	調査地点番号				
1	モグラ目(食虫目)	トガリネズミ科	ジネズミ	<i>Crocidura dsinezumi</i>									
2	モグラ目(食虫目)	モグラ科	アズマモグラ	<i>Mogera imaizumii</i>									
3	コウモリ目(翼手目)	ヒナコウモリ科	アブラコウモリ	<i>Pipistrellus abramus</i>									
4	ウサギ目	ウサギ科	ノウサギ	<i>Lepus brachyurus</i>									
5	ネズミ目(齧歯目)	ネズミ科	アカネズミ	<i>Apodemus speciosus speciosus</i>									
6	ネズミ目(齧歯目)	ネズミ科	カヤネズミ	<i>Micromys minutus japonicus</i>		NT							
7	ネズミ目(齧歯目)	ネズミ科	ハツカネズミ	<i>Mus musculus</i>									
8	ネコ目(食肉目)	アライグマ科	アライグマ	<i>Procyon lotor</i>									
9	ネコ目(食肉目)	イヌ科	タヌキ	<i>Nyctereutes procyonoides viverrinus</i>									
10	ネコ目(食肉目)	イタチ科	イタチ	<i>Mustela itatsi itatsi</i>		NT							
11	ネコ目(食肉目)	ネコ科	ネコ	<i>Felis catus</i>									
合計種類数：5目9科11種													

【表の見方】各種が確認された調査地点には、“ ”を示しました。(調査地点の番号は、調査位置図の番号と対応しています。)

なお、下記の重要種に該当する種のうち、環境省RLのカテゴリが「VU:絶滅危惧 類」以上の種については、保全上の理由から確認された調査地点を示していませんが、いずれかの調査地点で確認されています。

重要種・特定外来生物等選定基準

【重要種】 環境省RL(レッドリスト): 環境省(2006および2007)「日本の絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト(爬虫類、両生類、および哺乳類)」において、以下のカテゴリーに選定されている種。

EX:絶滅、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧 類(CR:絶滅危惧 A類、EN:絶滅危惧 B類)、VU:絶滅危惧 類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、LP:絶滅の恐れのある地域個体群

神奈川県RDB(レッドデータブック): 神奈川県生命の星・地球博物館(2006)「神奈川県レッドデータ生物調査報告書」において、以下のカテゴリーに選定されている種。

EX:絶滅、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧 類、CR:絶滅危惧 A類、EN:絶滅危惧 B類、VU:絶滅危惧 類、NT:準絶滅危惧、減:減少種、希:希少種、要注:要注意種、注:注目種、DD:情報不足、DD(A):情報不足A、DD(B):情報不足B、不明:不明種、LP:絶滅の恐れのある地域個体群

なお、重要種には、上記に加えて「文化財保護法」で指定される“天然記念物”、および「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」で指定される“国内希少野生動植物種”に該当する種も含まれますが、本調査の調査地点では確認されていません。

【特定外来生物等】特定:「特定外来生物による生態系に係る被害の防止に関する法律」に基づき、生態系・人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼす(またはその恐れがある)生物として指定されている種。

要注意: 環境省により、外来生物法による規制とは別に、「生態系に悪影響を及ぼしうることから、利用に関わる個人や事業者等に対し、適切な取り扱いについて理解と協力をお願いするもの」として選定された種。

「No.」欄が空白になっている行がありますが、これは確認された生物の“種名が判別できなかったため、科や属等の分類群のみを記録した”ものです。これらは原則として、合計種類数を計数する際、カウントしていません。

なお、河川水辺の国勢調査結果は、全国的に統一されたマニュアルに基づき、集計等のとりまとめを行っています。

マニュアルは「水情報国土データ管理センター(<http://www5.river.go.jp/>)」で公開されています。(河川環境データベース>河川版>河川水辺の国勢調査ツール>平成18年度河川水辺の国勢調査マニュアル基礎調査編[河川版]を参照してください。)